

(4) 第一新興土地区画整理（市施行）

本地区は、昭和19年戦時体制下のなか、各種工場等施設の設置の要請に対応するため、函館市の施行により工業用地造成を目的として、土地区画整理に着手された地区である。本事業も第二土地区画整理地区と同様、戦後の社会経済情勢の変化に遭遇し、特に、財政事情の悪化およびスタッフ不足のため、施行期間が長期におよび、旧都市計画法適用期限の昭和35年3月に換地処分が行われた。

本地区で特筆すべきことは、日本専売公社函館工場（現在は郊外に転出）を誘致したことと、区画整理の仮清算の方法を講じたことであり、また、児童公園については、区画整理完了後タイヤ公園として施設も充実し、地域住民の憩いの場として利用されるに至っている。

〈事業の概要：第一新興〉

総括

施行者	函館市	都市計画決定	昭和19年8月21日	地区内人口	3,850人
施行面積	533,054㎡	事業計画決定	昭和19年9月21日	権利者数	所221人・借一人
施行期間	S19～S34年度	換地処分の公告	昭和35年3月31日	筆数	464筆

土地の種目別施行前後対照表

区分	施行前		施行後		備考	
	地積㎡	割合%	地積㎡	割合%		
公共用地	道路	20,264	3.80	113,894	21.37	
	公園・緑地	-	-	11,732	2.20	
	水路・河川	-	-	-	-	
	公共用地計	20,264	3.80	125,626	23.57	
宅地	宅地	245,398	46.04	274,569	51.51	
	農地	151,623	28.44	-	-	
	その他	46,576	8.74	19,230	3.61	
	国有地	28,810	5.40	78,743	14.77	準国有地含
	市有地	39,154	7.35	32,182	6.04	
	宅地計	511,561	95.97	404,724	75.93	
保留地	-	-	2,704	0.50		
測量増減	1,230	0.23	-	-		
合計	533,054	100.00	533,054	100.00		

減歩率計算表

整理前宅地地積㎡	同更正地積㎡	整理後宅地地積㎡		減歩率	
		保留地含む	保留地除く	公共減歩%	合算減歩%
511,561	510,331	407,428	404,724	20.16	20.69

公共施設調査

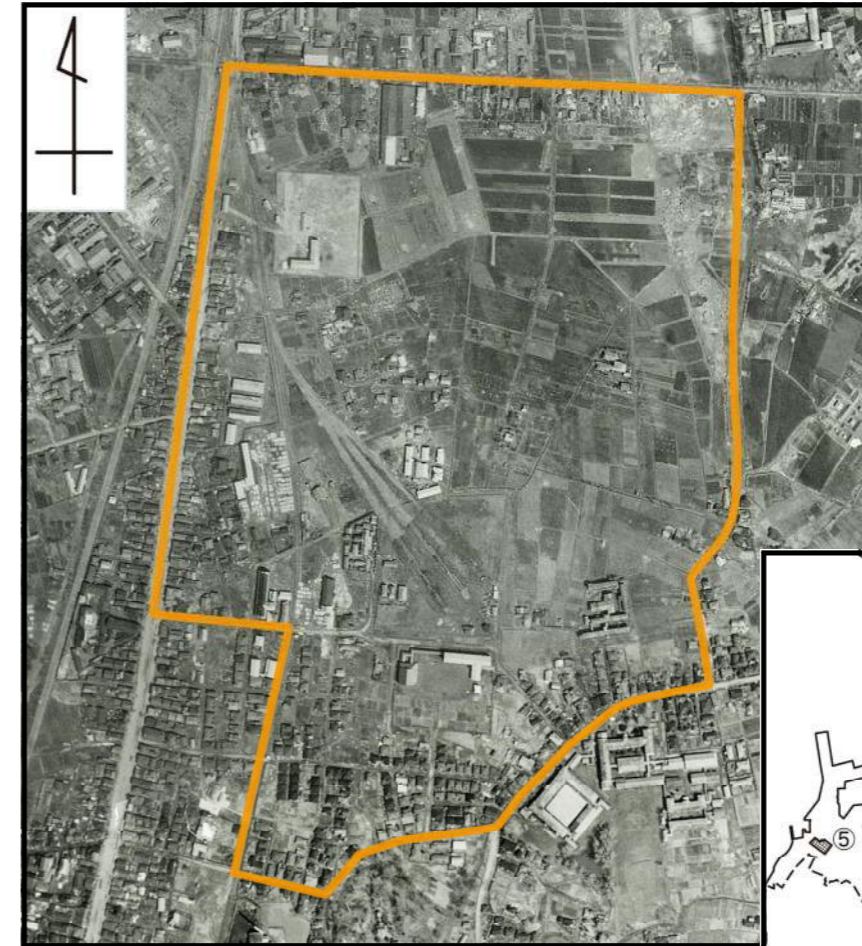
道	幅員m	延長m	面積㎡
都市計画	15～36	3,365	62,245
区画	8～	5,426	51,649
特殊	-	-	-
道路計	-	8,791	113,894
公園	1箇所	-	11,732
緑地	-	-	-
園計	-	-	11,732
水路	-	-	-
水路計	-	-	-

事業費・支出

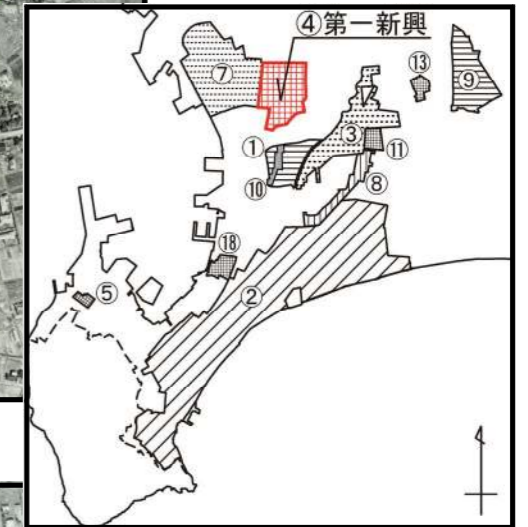
区分	数量	金額(千円)
都市計画	2,085 m	4,634
区画	5,246 m	5,081
特殊	-	-
公園	-	-
水路	-	-
計	-	9,715
移転・移設	41	3,674
法2-2	-	-
調査設計	-	1,917
事務費	-	2,504
その他	-	-
合計	-	17,810

事業費・収入（単位：千円）

国庫補助金				公管金	
-				公園	河川
-				-	-
道費	市費	保留地処分金	その他	合計	
-	16,688	1,122	-	17,810	



第一新興地区
～施行中～
(昭和23年撮影)



第一新興地区
～施行後～
(昭和35年撮影)